

株主の皆さまへ

第112期 中間業績のご報告

2023年4月1日～2023年9月30日

近畿車輛株式会社

(証券コード：7122)

ごあいさつ



代表取締役社長 吉川 富雄

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
2023年度中間期の業績についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アフターコロナの段階への移行により旅行需要やインバウンドの増加など経済活動の正常化が進む一方、ウクライナ情勢の長期化による世界的な材料費やエネルギー価格の高騰と、それを抑制するための欧米各国における金融引き締めに伴う景気の下振れなどの影響により、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の当社グループにおける業績は次のとおりとなりました。

鉄道車両関連事業につきましては、受注高はJR向け近郊電車、東武鉄道向け電車、近鉄向け新型一般車両などの受注により321億4千9百万円(前年同期比113.6%増)となり、売上高は東京メトロ向け地下鉄電車、北大阪急行電鉄向け電車、京都市交通局向け地下鉄電車など156億6千2百万円(前年同期比2.7%減)となりました結果、受注残高は1,253億5千3百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

不動産賃貸関連事業につきましては、売上高は4億8百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

以上により、売上高は160億7千1百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

損益面では、営業利益は16億3千7百万円(前年同期比844.1%増)、経常利益は23億2千2百万円(前年同期比185.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億9千4百万円(前年同期比138.9%増)となりました。

また、当第2四半期累計期間の当社における業績は、受注高は280億6千万円(前年同期比142.8%増)、売上高は114億4千2百万円(前年同期比4.7%減)、受注残高は993億1千2百万円(前年同期比6.5%増)となりました。また、営業利益は17億6百万円(前年同期比215.3%増)、経常利益は24億3百万円(前年同期比115.1%増)、四半期純利益は19億4千9百万円(前年同期比75.3%増)となりました。

今後の見通しは、当社グループの顧客である鉄道事業者を取り巻く事業環境の回復による需要増加が期待されますが、まずは昨年来の材料費やエネルギー価格、人件費の高騰などによる製造原価上昇の影響に対処しなければなりません。そのなかで国内市場は、さらなる安全性の向上やバリアフリー化、省エネルギー化のための鉄道車両の置き換え需要が見込

めるものの、中長期的にはテレワークの定着や人口減少などによって鉄道車両の需要減少が予想されることから、先行きは見通しにくい状況が続いています。また海外市場は、景気対策としてインフラ投資を行う米国や、今後も新線の建設が続く東南アジアや中東において新たな受注が期待できますが、受注競争の激化や現地生産化要請に加え景気の下振れが継続するリスクなど不安定要因を抱えています。

こうした状況にあって、当社グループといたしましては、引き続き大型海外案件であるカイロ地下鉄向け電車を含む受注済案件の遂行に努めて従来からの顧客の信頼に応えるとともに、新規顧客の案件獲得にも注力してまいります。さらに、環境面も考慮した持続可能な社会を実現する最適仕様の車両をこれまでに培った技術力やデザイン力を活かして提案するとともに、さらに合理的な生産体制を追求することで収益を確保してまいります。

2023年12月

健康経営宣言

当社は今般、「健康経営宣言」等を制定し、「健康経営」を推進する決意や方針、推進体制を明確にすることとしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

健康経営宣言

近畿車輛株式会社は「社員の健康と幸福の実現」こそが、当社の「ものづくり」の原動力であるとの認識に立って、さらなる「社員の健康と幸福の実現」に向けて「健康経営」を実施し、事業の持続可能な発展と企業価値の向上を目指します。

健康経営方針

1. 近畿車輛株式会社は、社員の「こころと身体の健康」に対する意識を向上させ、その増進に積極的に取り組みます。
2. 近畿車輛株式会社は、「働き方改革」を通じてストレスの軽減と労働生産性の向上を図るとともに、「ワークライフバランス」を推進し、仕事とプライベートが両立する環境を整備します。
3. 近畿車輛株式会社は、健康経営の取り組みの効果を定期的に評価し、継続的に改善する体制を構築するとともに、経営陣自らがリーダーシップを発揮して、社員の健康経営への参加を推進します。

役員(2023年9月30日現在)

代表取締役社長	吉川 富雄	取締役(社外)	齊藤 紀彦
取締役常務執行役員	青木 裕孝	取締役(社外)	小森 悟
取締役常務執行役員	南井 健治	取締役(社外)	野崎 篤彦
取締役常務執行役員	田畑果津志	常勤監査役(社外)	石本 修
取締役常務執行役員	杉森 尚志	監査役(社外)	木村 幸彦
取締役相談役	岡根 修司	監査役(社外)	美根 晴幸
		監査役(社外)	原 史郎



JR西日本 W7系



北大阪急行電鉄 9000形

株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	普通株式	12,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	6,908,359株
株主数		4,396名
単元株式数		100株
大株主 (上位10名)		

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (近畿日本鉄道株式会社退職給付信託口)	20,846	30.30
近鉄グループホールディングス株式会社	9,708	14.11
立花証券株式会社	5,381	7.82
西日本旅客鉄道株式会社	3,454	5.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,617	3.80
日本生命保険相互会社	1,781	2.59
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,180	1.71
BNP PARIBAS LONDON BRANCH FOR PRIME BROKERAGE CLEARANCE ACC FOR THIRD PARTY	1,000	1.45
三菱重工株式会社	770	1.12
INTERACTIVE BROKERS LLC	529	0.77

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 (基準日)	6月 3月31日 このほか必要がある場合は、あらかじめ公 告して基準日を定めます。
公告方法	電子公告により行います。 やむを得ない事由により、電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
(アドレス)	https://www.kinkisharyo.co.jp (当社ウェブサイト)
株主名簿管理人 特別口座管理機関 (連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)

投資家情報は、当社ウェブサイトの「投資家のみなさまへ」でご覧いただけます。

連結財務ハイライト

(百万円)

区分	第111期 (前第2四半期)	第112期 (当第2四半期)
売上高	16,497	16,071
営業利益	173	1,637
経常利益	812	2,322
親会社株主に帰属 する四半期純利益	792	1,894
受注高	15,050	32,149
受注残高	120,505	125,353

個別財務ハイライト

(百万円)

区分	第111期 (前第2四半期)	第112期 (当第2四半期)
売上高	12,004	11,442
営業利益	541	1,706
経常利益	1,117	2,403
四半期純利益	1,112	1,949
受注高	11,558	28,060
受注残高	93,292	99,312

株式の手続きに関するご案内

特別口座および単元未満株式の買取請求等について

お手続きの詳細につきましては、同封のチラシをご覧ください。

マイナンバー届出のご案内

株式の税務関係の手続きにおいて、株主様のマイナンバーの届出が必要です。**お済みでない株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。**

株主総会資料の電子提供制度について

2023年3月以降の株主総会より、株主総会資料が原則ウェブ化されましたが、2023年6月開催の当社第111回定時株主総会におきましては、制度適用初年度であり、確実に情報を提供させていただく観点から、従来と同様の書面を送付させていただきました。**議決権を所有されている株主様で、次回以降も株主総会資料の書面での受領をご希望される場合は、株主総会の基準日までに、口座を開設されている証券会社等または株主名簿管理人を通じて書面交付請求のお手続きをお願いします。**

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。